



# 飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. 78

The Iida City Institute  
of Historical Research

2015年10月1日 発行

飯田市歴史研究所  
〒395-0002  
長野県飯田市上郷飯沼3145  
TEL 0265-53-4670  
FAX 0265-21-1173  
E-mail iihr@city.iida.nagano.jp



## 第13回飯田市地域史研究集会を開催しました

9月5日(土)・6日(日)  
飯田勤労者福祉センター

### 特集 飯田・下伊那の歴史的景観

秋の長雨のわずかな晴れ間を狙っていたかのように、飯田・下伊那の歴史的景観をテーマとする二日間の研究集会が開催されました。

初日は、国内や海外における景観に関する議論や取組みを振り返り、県内や市内の景観に視点を移しながら、地域の内や外、研究者、行政、住民と異なる立場から意見を交わす機会となりました。東京大学の伊藤毅先生とベネチア建築大学のマッテオ・ダリオ・パオルッチ先生からは、20世紀初頭に審美性を背景に景観という概念が生まれ、それが現在意識されているような、地理学的な領域を意識した概念に変遷する過程についての講演があり、土地利用の歴史的変遷と多様性を伝える領域としての景観の意義を提示されました。



ディスカッションの様子



丘の上のさんぽの様子

一方で、今年、国的重要文化的景観として指定を受けた飯山市の小菅の里づくり委員会の鷲尾恒久氏からは、文化庁による文化財の概念である文化的景観を軸に、歴史が集積した集落景観と周辺の自然景観を研究者と協力して地域づくりに活かしてきた経験を報告がありました。

そのような外からの視点に対して飯田市教育委員会の下平博行氏は、「田切」地形に沿って領域を形成し、古代から近代の史跡が積層する市内座光寺において、麻績の里として住民に意識される景観について報告しました。続く意見交換では、さらに「人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト選定委員会」に参加している本島和人氏が、98の文化遺産の紹介と「防災」を通じた景観の認識の取組みを紹介しました。それらを受けて出された、変遷した景観、残された景観をどのようにとらえ、伝えるかという問い合わせに対して、景観を個々の史跡の集積としてとらえるだけではなく、それらが受け継がれた歴史的経緯を明らかにすることが、景観の価値を意識するためには必要ではないかという指摘が出されました。

初日を締めくくった丘の上さんぽや、二日目の松島正幸氏の丘の上の段丘景観、木下光氏の街道と宿場の景観に関する報告は、市民から普段親しんでいる身近な景観の成り立ちを考えさせる視点を提示するものでした。最後に集落住民として下栗集落の景観について報告した野牧和将氏は、日々の生活を守ることが、集落の景観を成り立たせていると語りかけ、会場の多くの方の賛同を得ました。初日の司会を務めた東京外国語大学の吉田ゆり子氏は、

まとめの言葉の中で野牧氏の報告を受けて、景観は地域住民のために残していくものであり、地域の持続性に貢献し、地域の取組みを支援するという観点から行政による文化財保護を考えていく必要性を訴えました。

会場では、景観の中で生活する人々の姿に焦点を当てた写真を集めたパネル展示が行なわれ、また市内の中央、鼎、上郷の各図書館では、9月24日まで研究集会のテーマに合わせ企画展示が行なわれました。



吉田ゆり子氏（東京外国语大学教授）による総括



マッテオ・ダリオ・パオルッチ先生（ベネチア建築大学講師）



関連展示(飯田市立中央図書館)

## 著作賞



# 歴研賞2015 受賞者コメント

坂口正彦 著書『近現代日本の村と政策』(日本経済評論社)

飯田歴研賞をいただき、誠にありがとうございます。この本は近代・現代の飯田・下伊那を対象として、地域コミュニティの特質と展開を探ったものです。2003年に飯田での研究を開始し、2008～10年度には飯田に住まわせていただく機会に恵まれました。現在、関西におりますが、飯田・下伊那は思い出いっぱい、第2のふるさとです。大変お世話になりました。今後ともよろしくお願ひ致します。(大阪商業大学経済学部経済学科 坂口正彦さん)



## 奨励賞



### 満州移民を考える会 編『下伊那から満州を考える』1

この度、満州移民を考える会編『下伊那から満州を考える』1が栄ある飯田歴研賞奨励賞を受賞し、会員一同感激と感謝で一杯であり厚く御礼申し上げます。



私たちの活動は、会の前身である「満蒙開拓を語りつぐ会」から、理念と全財産を引き継いで、満蒙開拓体験者及び関係者、義勇軍関係者から生きた体験の聞き取りと研究発表を編集して毎年一冊出版し、後世に残し保存する活動をしております。既に前の会からでは100人近い方からその人のライフストーリーをお聞きして、全国一の開拓民を送り出した飯田・下伊那から満州移民の何たるかを発信しております。出版は継続中です。戦後70年、日本の平和を考える時、多くの方に是非お読み頂く事を切望いたします。今回の受賞は編集委員の努力の結果であります。(満州移民を考える会 筒井芳夫さん)

## 奨励賞



### 小島稔 著 「「恒川官衙遺跡」の国史跡指定に寄せて」(『伊那』1032号)

この度は、地域の歴史・文化遺産、特に「恒川官衙遺跡」の保存利活用の取り組みについて評価をいただき、飯田市教育委員会等のご指導、また地域の諸先輩の努力を思い起こし感慨無量です。

憩い・交流・学習の拠点、国史蹟「恒川官衙遺跡」の公園化、またそれを核にした「2000年浪漫の郷」づくりは緒に就いたばかりです。多くの課題を抱えていますが、お励ましに応えられるよう、広く知恵を求め自ら汗を流し、リニア新時代を見据えた文化の拠点づくりに励んでまいりたいとの思いを強くしています。(飯田市座光寺地域自治会 特別委員「歴史に学び地域をたずねる会」会長 小島稔さん(写真左))



### 今村作衛 著 「恒川清水に思うこと」(『伊那』1032号)

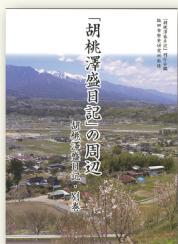
今回、思いもよらぬ賞を頂き、ありがとうございました。

先人たちが守ってきた恒川濡水、伊那郡衙等が古代史に占めた重要性を知り感動した一文でした。会の皆でそうした座光寺のものを一つ一つ積み上げて後世に伝え、地域づくりに励めという賞かと感じています。(飯田市座光寺地域自治会 特別委員「歴史に学び地域をたずねる会」 今村作衛さん(写真右))

## 新刊案内

「胡桃澤盛日記」刊行会編／飯田市歴史研究所監修  
『「胡桃澤盛日記」の周辺』  
(胡桃澤盛日記・別巻)

### 『胡桃澤盛日記』全6巻セット18,000円購入者に贈呈



大正～昭和初期を生きた胡桃澤盛は、満洲河野分村を送り出した村長として自責の念にかられ自殺されたと言われている。本書には同時代の河野村・下伊那の様子、親族が語る盛、など8人の語りと、長男健氏の国策に翻弄された父親の像を収録している。平成27年8月24日刊行 A5版 296頁

『胡桃澤盛日記』は全6巻のセット販売のみとなっております。(分売はしていません)



## 美博まつり★建物の模型をつくろう

8月1日・2日の二日間、中央図書館研修室において、飯田市歴史研究所と建築事務所協会による「紙で飯田のたてもをつくろう」のコーナーが設けられ、朝から多くの工作好きの子供たちで賑わいました。

本棟造りの民家やうだつのある町屋、農村舞台、麻績校舎や教育会館等など年々レパートリーは増えていますが、子供たちにとっては初めてみるものばかりです。建築士のおじさんたちに手伝ってもらって作りあげると、誇らしげに見せ合う子供たち。

これをきっかけに是非、本物の建物も訪ねて頂きたいです。



## 報告 飯田アカデミア2015 第75講を開催しました



第75回飯田アカデミアを、信州大学人文学部准教授の大串潤児先生（写真左）をお招きして、「地域のなかの「戦争責任」問題」と題し8月29日・30日の両日にわたり開催いたしました。

開講の辞で、大串先生はこのアカデミアという取り組みを、1920年代以来の自由大学運動になぞらえ、地域における学びへの意志が継承されていることを指摘されました。本講座では、大串先生の取り組んでこられた近現代史研究の二つの柱である「教科書問題・教科書訴訟」「戦後地域社会史」を取り上げられました。

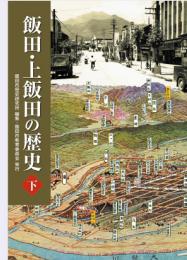
戦争と平和をめぐる議論が盛んになっていることを背景にしてか、両日のアカデミアには多くの方にご参集いただき、活発な質疑を行うことができました。



## 飯田・上飯田の歴史 下

### 大好評につき増刷!!

(明治～現代)



豊富な資料や図版で、わかりやすく飯田・上飯田地域（橋北・橋南・羽場・東野・丸山）の歴史を学ぶことができる一冊です。

飯田市歴史研究所 編 B5判フルカラー 378頁 定価 3,000円

序章では飯田・上飯田地区の近代・現代史に関する概要と課題について述べ、本編8章で明治維新から戦後までの歴史を取り上げ、終章では1980年代から現代までを概観し、本編の内容をまとめています。

各節とコラムは基本となる図版を手掛かりに飯田・上飯田の歴史をわかりやすく学ぶことができる一冊となっております。

**販売窓口** 飯田市歴史研究所・飯田市立中央図書館・飯田市美術博物館・上郷考古博物館・飯田市公民館  
・丸山公民館・橋北公民館・橋南公民館・羽場公民館・平安堂飯田店・平安堂座光寺店

### ワークショップ

## 飯田・下伊那の領主たちと地域社会(仮)

12月12日 土 飯田市歴史研究所にて開催

※詳細については歴史研究所までお問い合わせください。

飯田・下伊那を支配した領主たちについては、堀氏をはじめ、これまで種々の研究などで言及されてきましたが、未だ飯田藩や同藩と近接する諸藩、伊豆木の小笠原家などの交代寄合衆、さらに幕領の代官などとの関係は不明な点が多いのが実情です。

本ワークショップでは、飯田・下伊那地域をフィールドに、領主による地域支配、および彼らが構築したネットワークの構造を、地域社会の動向と絡めて解明することを目指します。

「今後とも、よろしくお願ひいたします」 安岡 健一(研究員)

この度、飯田市歴史研究所を辞し、大阪大学文学部で講師として勤務することになりました。皆様方には、在任中たいへんお世話になりました。

振り返って思い出されるのは、歴史的な公文書の整理や日々の研究活動とともに、資料を提供していただいたり、自分史ゼミや講座に来ていただいたりした方々との交流です。たくさんの人びとの生き方に触れ、地域の現実を学ぶ中で、歴史学が人の役に立つことができる学問であることを改めて確信しました。

第二子を授かった場所でもあるこの地は、豊かな自然や農産物、厚みある文化や幾人もの恩人の存在によって彩られる、私にとってかけがえのない場所です。これからも、ここ飯田・下伊那の歴史に学ぶとともに、いろいろな方たちで還元することを目指します。そして歴史研究所という類まれな文化機関を持つ飯田市を、さまざまな場面で発信する一人になりたいと思います。今後とも、ご交流の程をよろしくお願ひいたします。

## 定例研究会

開催日：10月31日 土

「山村の集落景観に見る木材利用  
—遠山谷の山間集落を事例に—」

報告者：樋口 貴彦（研究員）

時間：14:00～16:00

場所：飯田市歴史研究所

開催日：11月21日 土

「上飯田村羽場組の相互扶助  
—村金貸付から和合相続金へ—」

報告者：伊坪 達郎（調査研究員）

時間：14:00～16:00

場所：飯田市歴史研究所

※定例研究会はすべて公開で行っております。  
どなたでもご参加いただけます。

## 地域史講座

### 山村の集落と木材利用

山地の集落景観は、山の木を使うことで形づくりられています。合理的でシンプルな関係ですが、現在では稀有なこの関係に目を向けてみたいと思います。

開催日：11月28日 土

時間：14:00～15:30

講師：樋口 貴彦（研究員）

会場：南信濃公民館 研修室

（飯田市南信濃和田2596-3）



## 受講生募集

スタッフとともに  
歴史を学んでみませんか。  
場所：歴史研究所 研修室

### わが町の建築史ゼミ

10月8日・29日  
11月12日  
18:30~20:00  
担当：樋口貴彦（研究員）

### 近世史ゼミ

10月6日・20日  
11月17日  
19:00~20:40  
担当：千葉拓真（研究員）

### 自分史ゼミ

10月24日  
11月28日  
13:30~15:00  
担当：安岡健一（研究員）

### 近現代史ゼミ

10月10日  
11月14日・28日  
13:30~15:00  
担当：田中雅孝（調査研究員）

### 思想史ワークショップ

10月7日・21日  
11月4日・18日  
19:00~20:40  
市民の皆さんのが自主的に学び合う場

ゼミ・ワークショップの詳細につきましては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

## 歴史研究所催事スケジュール

2015年 10月

NL78発行	木	1	日
	金	2	月
満州移民研究ゼミ	土	3	火
	日	4	水
近世史ゼミ	火	5	木
思想史ワークショップ	水	6	金
わが町の建築史ゼミ	木	7	土
	金	8	日
古文書講座／近現代史ゼミ	土	9	月
	日	10	火
	月	11	水
	火	12	木
	水	13	金
	木	14	土
	金	15	日
	土	16	月
	日	17	火
	月	18	水
	火	19	木
近世史ゼミ	火	20	金
思想史ワークショップ	水	21	土
	木	22	日
	金	23	月
古文書講座／自分史ゼミ	土	24	火
	日	25	水
	月	26	木
	火	27	金
	水	28	土
わが町の建築史ゼミ	木	29	日
	金	30	月
	土	31	

2015年 11月

## 歴研日誌

### 8月

- 1日…歴研ニュース 77号発行
- 1日…満州移民研究ゼミ第51回「満洲紀行を読む」
- 1日…定例研究会「明治期松尾村の自治体験—松尾小学校の児童議会、村の議会経験—」(栗谷市民研究員)
- 1-2日…美博まつり「建物の模型を作ろう」(飯田市美術博物館)
- 3-5日…名古屋 松下祐輔家文書調査  
(吉田ゆり子顧問研究員・伊坪調査研究員・千葉研究員)
- 4日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 5日…思想史ワークショップ「三醉人経綸問答⑥」
- 7日…小笠原家文書調査(千葉研究員)(小笠原史料館)
- 8日…古文書入門講座第3回「人名を読む」
- 11日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 11日…中川村歴史民俗資料館 調査(安岡研究員)
- 15日…『年報13』刊行
- 15日…下栗集落民家調査Ⅰ(樋口研究員)
- 17日…出前講座「平和のための信州・戦争展」(安岡研究員)
- 18日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 20日…わが町の建築史ゼミ「家と街の描きかた」
- 22日…近現代史ゼミ「報告 飯田と空襲」
- 22日…古文書入門講座第3回「人名を読む」
- 22日…自分史ゼミ第4回「聞きとり・インタビューの方法」
- 22日…座光寺 空き家調査(樋口研究員)
- 23-24日…飯田市南信濃 佐藤光弘家文書調査(吉田所長・吉田ゆり子顧問研究員・伊坪調査研究員・千葉研究員・樋口研究員)
- 25日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 26日…歴史に学び地域をたずねる会 聞き取り調査(安岡研究員)(麻績史料館)
- 29-30日…飯田アカデミア第75講座「地域の中の『戦争責任』問題」

### 9月

- 1日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理  
(麻績史料館)
- 1日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 2日…思想史ワークショップ「三醉人経綸問答⑦」
- 5-6日…第13回飯田市地域史研究集会「飯田・下伊那の歴史的景観」  
(飯田勤労者福祉センター)
- 8-9日…下栗集落民家調査Ⅱ(樋口研究員)
- 10日…わが町の建築史ゼミ「グループワーク 中間報告」
- 12日…地域史講座「川路村と戦争の時代」(安岡研究員)(川路公民館)
- 12日…古文書入門講座第4回「町村名を読む」
- 12日…近現代史ゼミ「川路村と戦争の時代」学習
- 12日…満州移民研究ゼミ第52回「満洲紀行を読む」
- 15日…近世史ゼミ「郡方覚書をよむ」
- 15日…歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 16日…思想史ワークショップ「三醉人経綸問答⑧」
- 18日…出前講座「鼎公民館役員研究集会」(安岡研究員)(鼎公民館)
- 26日…自分史ゼミ第5回「記事・写真等のとりあつかい」
- 26日…古文書入門講座第4回「町村名を読む」

開所時間：午前9時～午後5時

休 所 曰：日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日 休所日

休所日

開所日